

地域おこし協力隊 活動レポート

卒業特別編



地域おこし協力隊
いしい ゆか
石井 優香

3年の任期を終え、3月末で地域おこし協力隊を卒業することとなりました。
平成30年4月、三豊市の地域おこし協力隊に着任して以来、たくさんの温かい人たちに会い、三豊ならではの魅力に触れ、かけがえのない経験を得ることができた3年間でした。
中山間地域の活性化をミッションとして、私が選んだ活動テーマは『食と食育』。
地域と一体になって取り組んだ活動のご報告とともに、3年間の厚いご支援に対し、三豊市の皆さんへ心からお礼を申し上げます。

食イベント

- ・地元産食材でパティシエ体験
(まちづくり推進隊財田(ふるさと振興協議会)との共催企画)
- ・各種料理教室
(まちづくり推進隊山本主催)
- ・パティシエお菓子教室
(山本町公民館との共催企画)
- ・ラーメンの集い(自主企画)
- ・地元産食材 de オンライン料理教室(自主企画)



▲子ども向けの食育ワークショップ「パティシエ体験」では、財田のフルーツを使って、プレートをデコレーションしました



▶料理教室ではスイートポテトを使ってキャラクターを作成!



三豊産フルーツで
アロハキョウの
台湾スイーツ(九龍球)



財田の竹を器に使った
タケモノ料理



地栗のマロングラッセ



三豊ちゃんぽん(冬)

三豊で獲れた野菜のおいしさや受け継がれてきた地域の料理を伝える活動として、パティシエの経験を生かし、規格外農産品を活用した“財田のみそソース”や“三豊なすジャム”などを使った「地元産食材でパティシエ体験」や料理教室などに講師として参加しました。

予想を上回る数の皆さんに参加いただき、改めて三豊の食の魅力を味わってもらう機会を持てたことを非常にうれしく思います。

また、「ラーメンの集い」で、地域の皆さんとともに地元食材の新たな可能性を模索しながら考案したオリジナルラーメンは、食べていただいた方からご好評をいただきました。

特に3年目は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、思うようにイベントが開催できなかったことに悔いは残りますが、オンラインでの実施など新しい方向性を見出すきっかけにもなりました。

食育

- ・さめぎ親子 Agri プロジェクト「田んぼっこ」
(山本町環境保全会との連携企画)
- ・みとよ地産地消カレンダー
(和光中学校との共同企画)
- ・食育スタンプラリー
(三豊発!! さめぎ軽トラ市への出店)



◀「田んぼっこ」では野菜の収穫や販売などを子どもたちも体験!



「みとよ地産地消カレンダー」には地元野菜の豆知識やおすすめの食べ方を掲載▶

山本町で遊休田や水路の維持管理活動をしている山本町環境保全会との連携により、田んぼを使った1年間の食育カリキュラムである『さめぎ親子 Agri プロジェクト「田んぼっこ」』をスタート! 市内在住の野菜ソムリエプロにサポートいただいたことで質の高いプログラムとなり、市外の人からも評判が良く、徐々に注目が集まっています。

そして、この地域ならではの食育の現場と生徒たちの斬新な発想をより多くの人に伝えたいという思いから、“地産地消”をテーマに学ぶ和光中学校の生徒と「みとよ地産地消カレンダー」を制作しました。子どもたちの学びに向き合う姿勢と地域力の高さに私自身が圧倒される中、市内外問わず多くの方に喜んでいただけるカレンダーが完成しました。



「田んぼっこ」のホームページはこちら!

これから

たくさんの農水産品にあふれる三豊に惹かれ、地域おこし協力隊に応募して早3年。着任当初から多くの方のご縁やお力添えにより、さまざまな活動を行うことができました。

しかし、生産者とのつながりから、たくさんの気付きと刺激を得ながらも、野菜などの規格外品は流通に乗りにくく、消費者の手に渡ることなく廃棄される生産現場の現状を知る中で、任期中には着手できなかった課題も残っています。

そこで、退任後は、消費者の皆さんと生産者の皆さんを共に支える活動として、「地産地消」を軸に、財田町でランチや焼きたてスイーツを提供する古民家カフェと、三豊市への定住と多拠点生活をサポートするシェアハウスの管理をしながら、山本町で子どもと高齢者の居場所づくりを行う NPO 法人の運営にチャレンジします!

地域おこし協力隊としての活動は、3月末をもって終了となりますが、これからも皆さんとともに三豊市の魅力を開拓し、伝えていきたいと思っています。

3年間ありがとうございました! これからも末永いお付き合いをよろしくお願いいたします。



▲古民家カフェ「季」のオープンに向け、現在開業準備中です